



2年 兼子 (山形県出身)

## 「ほるほる」で3年連続入賞!!

9月7日に神奈川の鶴見大学で行われた歯型彫刻コンテストに、今年も本校の学生6人がチャレンジ。全国から歯科技工を学ぶ学生60人余りが参加するなか、2年生の兼子夕佳さんが見事に優秀賞を獲得しました。

関東地区歯科技工士連合会  
第15回歯型彫刻コンテスト  
「ほるほる」学生の部

### “優秀賞”は頑張って練習した成果

1年生の時から「ほるほる」に参加するつもりで、ずっと練習をしてきたので、優秀賞をいただけたのは本当にうれしいです。会場ではねらい通りの一番後ろの席を確保することができ、落ち着いて彫ることができたのも良かったです。じつは、出題を予測して練習していた歯があったのですが、実際に出題されたのは全然違う歯で予想外。でも、出題された歯は、開始前にたまたま10秒ほどながめた歯だったので、私にとってはラッキーでした。この1年半は、お手本の模型により忠実な歯を彫るために“見る力・見る目”を鍛えてきた感じです。賞をいただいて“見る力”にも“彫る力”にも自信が持てるようになったので、国家試験に向けてまた頑張っていこうと思います。

歯型彫刻は、歯の1本1本の形と機能を理解するために重要な実技です。歯型彫刻コンテストに、東北地区から参加したのは本校のみ。3年連続入賞の成績は、本校の技術教育の成果でもあります。



## 座禅で精神集中!!

1年生は、9月5日に座禅の特別授業がありました。座禅を行ったのは、伊達政宗の菩提寺、国宝でもある松島の瑞巖寺。静かな空間の中で、みんな何を瞑想したのでしょうか。



1年 清水 (宮城県出身)

座禅は中学の時には経験がありますが、あまり思い出に残っていないので最初は気が進みませんでした。座禅を始める前に住職から「思い浮かんだことに逆らわず、そのままにしておけばよい」という説明があり、私は昼食ことを考えたりして楽しい座禅になりました。いつものリズムと違う時間を過ごし、リフレッシュして帰ってきました。こんなゆったりした時間、時々必要ですね。



## 陶芸教室で作品づくり

in 蔵王まんぷう



1年 外田 (宮城県出身)

一度やってみたいと思っていたのですが、陶芸は初めての体験。粘土にさわってみたら、思っていたより硬くて、意外に力がいるんだなあと感じました。作ったのは自分用のマグカップ。表面をもう少しつるっと仕上げたかったのですが、スキルが足りませんでしたね…(笑)。色付けは、白と黒のモノトーンになる予定で、今から出来上がりが楽しみです。いつも触れているものとは違う触感の粘土が、なんだか心地よかったです。

